



平成23年12月27日
四国地方整備局

入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、本年度第3回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成23年7月から平成23年9月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成23年12月14日(水)
会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 南 守 (内線2114)

契約管理官 渡辺 晴彦 (内線2222)

技術開発調整官 藤山 究 (内線3120)

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第3回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成23年12月14日(水) 高松サポート合同庁舎13階会議室					
委員(部会委員5名)	部会長 近藤 光男(徳島大学大学院教授) 委員 大西 均(公認会計士) 委員 島 弘(高知工科大学大学院教授) 委員 白井 一郎(弁護士) 委員 三野 靖(香川大学教授)					敬称略 委員は50音別
審議対象期間	平成23年7月1日～平成23年9月30日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争(政府調達協定適用対象工事)	平成23-24年度 仁ノ海岸第3離岸堤工事	東亜建設工業(株)	723,240	5	91.10
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成23年度 高知地方法務局構内整備工事	入交建設(株)	94,500	4	89.29
		平成23年度 香川管内CCTV設備改良工事	三菱電機システムサービス(株)	46,200	4	85.39
建設コンサルタント業務等	簡易公募型プロポーザル	平成23年度 野村ダム利水放流設備外修繕設計業務	日本工営(株)	10,080	5	92.13
	随意契約	平成23年度 四国東南部地区崩壊調査業務	国際航業(株)	12,180	1	95.95
役務及び物品	企画競争	平成23年度 不動産鑑定評価業務(その1)	(有)松井不動産鑑定事務所	2,121	2	100
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備考						

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

(注)企画競争においては、「入札者数」は「企画競争参加資格要件を満たす企画提案書の提出者数」である

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札(政府調達協定対象工事)	
意見・質問	回答
<p>平成23-24年度 仁ノ海岸第3離岸堤工事</p> <p>技術提案評価の配点については基準はあるのか</p> <p>政府調達協定対象工事と対象外工事の違いはなにか。</p> <p>施工体制確認のための資料を提出できないので無効となった者が3者あるが、提出できない事に対して疑義がある。</p>	<p>技術提案の内容、重要度等を考慮して、一定の基準に基づき配点を行っている。</p> <p>総合評価委員会に具申を行い、委員に意見を伺いながら評価の方法等について方針を決めている。</p> <p>政府調達協定対象工事は、条約に基づく調達である。外国企業の参入が可能な工事であることから競争参加資格には地域要件の限定等はない。</p> <p>ダンピング防止等により、求める資料の内容については厳しくしているが、資料を提出するかどうかは企業判断である。</p>
(2) 一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回答
<p>平成23年度 高知地方法務局構内整備工事</p> <p>企業評価の場合は2カ年連続で60点未満の場合は欠格となるが、技術者評価においては工事成績が0点であっても良いのか。</p> <p>企業評価は良いが、技術者評価が悪いケースがある。何故か。</p> <p>平成23年度 香川管内CCTV設備改良工事</p> <p>特になし。</p>	<p>技術者の成績が65点以上の場合に評価を行い加算点を付与し、65点未満及び実績がない場合には0点として加算点を付与している。</p> <p>直轄としての建築工事の発注件数が少ないので、データベース上で実績を持った技術者が少ないことが要因ではないか。</p>

<p>工事共通事項</p> <p>加算点の中に占める技術提案の評価点の割合が少ないのが見られるが、総合評価を行う必要があるのか。</p> <p>暴力団関係者の排除について、競争参加資格要件には警察からの排除要請と当該状態が継続している者は排除することになっているが、契約等の際に確認を行い積極的に排除を行っていく予定はないのか。</p>	<p>総合評価落札方式の簡易型については、技術提案の占める割合が少ないが、企業評価、技術者評価により総合的に評価を行っている。また、総合評価落札方式の中にさらに多様な方式があり、工事内容等により方式を選択している。</p> <p>情報を持っていないことから確認を行うすべがないが、今後とも、警察当局、各県と連携を密にして情報収集に努めていきたい。</p>
<p>(3)簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p>平成23年度 野村ダム利水放流設備外修繕設計業務</p> <p>企業評価における成績・表彰における評価点の考え方は。</p> <p>企業評価における、成績・表彰と技術者評価における、成績・表彰と2回評価を行うのか。</p> <p>成績については平成20年度以降となっているが年数の範囲が短期ではないか。</p>	<p>優秀な成績がある者については、評価点を高くするようにしている。</p> <p>企業評価及び技術者評価については、参加表明者の内、技術提案書を求める5者を選定する際に行い。さらに技術提案書を特定する場合には技術者評価のみを行っている。</p> <p>全体の配点に占める割合が少ないので問題はないと考える。</p>
<p>(4)随意契約(建設コンサルタント業務等)</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p>平成23年度 四国東南部地区崩壊調査業務</p> <p>予定価格の算出の方法は。</p> <p>既存のデータはだれでも活用できるのか。出来ないのであれば、その者と随意契約となるのか。</p>	<p>業者より見積もりを徴収し、当事務所で過去に行った同種の業務の積算と照らし合わせて予定価格を算出した。</p> <p>データ使用はどの者でも可能であるので、計測できる技術のある者であれば、契約は可能である。</p>

(5) 企画競争(役務・物品)	
意見・質問	回答
<p>平成23年度 不動産鑑定評価業務(その1)</p> <p>地価調査等を行っている者に業務実施方針を提出させる意味があるのか。</p> <p>実績と業務実施方針で評価しているが、実績評価だけでいいのではないのか。</p> <p>企画競争実施に係る説明書には、業務実施方針の評価基準が示されているが、応募者には漠然としていてわかりにくい。企画提案書評価表の判断基準を示しておかないと応募する者が企画提案書を書けないのではないのか。</p>	<p>対象地域内の公示地・基準地評価などの地域精通度や一般鑑定評価の実績だけではなく、業務実施方針・企画力を含め、総合的に評価している。</p> <p>企画提案書評価表はオープンにしていない。また、判断基準をすべて満足することを求めているものでもない。なお、この方式は全国ルールで運用している。</p> <p>指摘を踏まえて、本省とも相談するなど、今後の検討課題としたい。</p>

2. 談合情報等に係る対応状況について

意見・質問	回答
特になし	

3. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回答
特になし	

5. 全体について及びまとめ

意見・質問	回答
特になし	